

ルが評価地積でございます。そのうち私もが保全奨励金をお払いしておりますのは一万一千三十五平方メートルの十七筆でございます。金額でございますと二十五万三千八百五円をお支払いしておりますわけでございます。

それから、介在山林でございますけれども、九十六筆でございます。この介在山林と申しますのは、住宅地とか、市街地、それから農地のすぐ近くにあるというふうなのが介在山林でございますけれども、九十六筆ございまして、五万六千九百九十四平方メートルでございます。そのうちの評価地積でございます。これが私も奨励金を出しておりますわけでございます。それ以外も、六十四筆で三万五千四百九十一平方メートルでございます。そのうち樹林地保全奨励金を支払っております地積等でございますけれども、二万二千六百十三平方メートル、筆といたしましては三十二筆でございます。金額にいたしますと、三百十六万七千四百四十九円奨励させていただいておりますわけでございます。

これに対します保全でございますけれども、地主さんにも御協力を

いただくとともに、先ほど市長が申し上げたとおりでございますけれども、関係部課とも御協議申し上げまして検討していきたいというふうなことを考えておりますので、御理解のほどをお願い申し上げます。

○九番（上野重勝君） それでは引き続きということでございますので、長くなりますが再質問を申し上げます。

まず、福生駅周辺の開発について、これは市長の答弁、あるいは部長の答弁をずっと聞いてみますと、まことに、あいまいな感じがしております。何か篠崎助役さんの模範答弁を聞いているような気がするわけですが、いまだに具体的に御答弁をしていただきたいと思います。まず、西口再開発について、市長はこれからも一生懸命やり、地元の説明会をするということですが、私はこの開発計画の内容についていまだに細かく御質問を申し上げたいと思います。

まず、その第一点ですが、この計画の最も基本をなすところのいわゆる多摩西部商圏の人口のとりえ方、これは福生市、羽村町、秋川

流域、それから昭島、武蔵村山、立川の一部等を含んだものでござい
ますが、この商圏人口を五十万と推定をいたしまして、このうちの三十万
人、六割が福生市の西口地域の対象人口だというふうに規定をしてお
ります。ところが、一番対象になる秋川流域、福生市、羽村町の人
口をとってみると、わずかに全部で二十万きりないんです。ほかの地域
たとえば昭島とか青梅というのは余り対象にはならないのではないかと
いうふうな気がいたします。そうすると、二十万きりないのにそれを上回る
三十万というふうな計画人口というのは、過大ではないのか。まず、一番根
本の対象となる人口についてどうなのかということをお伺いいたします。
それから、さらに二番目としては、道路計画、交通計画に具体性が
ない。確かに入れ物としてはりっぱな計画ができております。この計画の
中でも指楯をいたしておりますように、Ⅰ・三、一とかⅡ・二・四、Ⅱ・二・五、
これらの骨格路線、それから生活道路、区画街路のような小さい道路、
これについては歩道をつける等をして安全対策を講じなければならな
い、というふうに書いてありますが、この骨格道路についても全く具体性がない、

進展性のない、たとえばⅡ・二・五をとりましても、まだ全く手がつけられて
いない。これが最も重要な路線だと思っておりますが、これらについても手がつ
けられていない。これが完成してからこの道路をつくってみたところで、問
に合わないと思えます。

市長は、かつてあそこへバスレーンをつくらうかという言っておりま
すが、入れ物ができてからこれをやったのでは遅いと思えます。したが
って、これらは平行してやらなくてはならないのではないかと考えますが、
これらについての具体性がないというところ。

それから、この計画の中に、商店街としての核機能、あるいはコミュニティ
レベルについての施設をつくらなくてはならないということがあります。核
機能ということになりますと百貨店とか大規模商店というものを導入す
るというふうには私は考えておりますが、現在の計画の中では、一階は地元
商店街、二階、三階について商店を導入するというふうな計画になっている
と思えます。そうすると、大規模店というようなものが果たしてそんなこと
で誘致できるのかどうか。この点についても私は疑問を持っております。

それから、コミュニティレベルの施設といいますが、具体的には一体どんなものを考えているのか。この点についてお答えをいただきたいと思ひます。

次に、財政負担の問題ですが、総事業費が百九十八億二千百万円、この財源措置としては、道路、公園分として四十二億八千五百万円、それから一般会計補助金として二十八億三千百万円、それから保留地の処分金として百二十七億円というふうになっております。

道路、公園分については、当然公共負担でございすから負担するのが当然でございすすが、一般会計補助金について一体どのような具体策があるのか。

それから、保留地の処分百二十七億円、これもかなり膨大な金額でございすすが、現在の建設計画の中で、果たして百二十七億が全部消化できるのかどうか。テナントを入れるとか、あるいは住宅を誘致するといふようなことも考えられておるようですが、それらが具体的に実現可能なのであるか、具体性があるのかどうか。この点について私も疑問を

持っております。

それから、この計画書の中でも指摘をされておりますが、権利パターンが借地が七〇％というふうに指定をされております。このような中で地主とそれから借地人との間のコミュニケーションはうまくいっているのか。完全な了解事項としてできているのか。後で問題が起らないか。これらについてもお答えをいただきたいと思ひます。

それから、これは将来の問題として書いてあるんですが、商業地に隣接する教育施設、具体的に言いますと、第一小学校ですが、この取り扱いについて検討するといふことがうたわれておりますが、将来この第一小学校については、移転をするとかといふことを考えるのだろうと思ひますが、これについての基本的な考え方はどうなのか。

西口再開発については以上の点、具体的な点についてお答えをいただきたいと思ひます。

それから、先ほど質問の中では見通しをお伺いしましたが、見通しについては全く触れておりません。一生懸命やりますというだけの答弁

でございますが、全く見通しがなく、一生懸命やりますということなのか、あるいはどのくらいを目途として開発をしようとするのか。その辺についてもいさし突っ込んだ御意見を承りたいと思います。

それから、東口開発について。

現在熊川地区の区画整理を始めたので、とてもそちらの方まで手が回らないという御答弁と承っておりますが、この地域については特に区画整理の手法を使わなくても、ごく限られた区域であり、しかも、狭いながらも道路はかなり通っているわけです。したがって、あの道路を拡張し、あるいはまた、一部について新設する等によって区画整理をやったと同じだけの効果が出るのではないかと。ただまた、公共用地の取得ということがそれではなかなかできませんけれども、現在、あの地域には空き地になっている所がずいぶんあると思います。これらを取得することによって公共用地は取得できるのではないかと、というふうに考えておりますので、この辺についてのお考えをお聞かせいただきたいと思います。

それから、Ⅱ・二・四号線とⅡ・二・二号線の拡張、これはこの前の答弁

から全く前進をいたしておりませんけれども、一体やる気があるのかどうか。仲村議員の質問のときの答弁と全く同じでございます。具体的に土地の交渉に入るのか。そしてまた、東京都に対して実現方の強い要望を出すのか。予算措置について具体的に都に交渉していくのか。いさし進んだ考え方を示していただきたいと思います。

次は、福生駅の橋上化の問題、これも西口開発と合わせて駅前広場を獲得し、それと同時にやっていきたいというようなことでございますが、市長は、ことしの防衛施設庁の要望の中に橋上駅をつくるための補助金をほしいということと、これは八条を指定して言っておられるんだらうと思いますが、この八条の補助金をもらってやろうと本気で考えているのかどうか。これは八条の補助金をもらってやるとなりますと、いまの民生安定法の中ではなかなか困難だと思います。私はこの際、八条の補助金というものにこだわらずに、独自ででもこれは建設をしていくべきであらうかと思っています。

これは、市があそこへ自由通路をつくる際に、橋上駅をつくらせて青
梅寄りに階段をつくり、それで混雑を緩和しますよという約束を
市民との間にしてあるわけなんです。これを実現しない、しかも、現在
危険な状態で、昇降階段のあたりが混雑しているというこれは、見過
ごせない問題だと思っています。いまだ少し具体的に計画を発表してい
たきたいと思っています。

それから、昭和五十一年に橋上駅の建設促進期成会が結成され
ました。これも確かに近い将来に橋をつくりますよということと結成さ
したわけですが、ところが、結成以来もう七年ですが、八年ですが、たっ
ておりませんけれども、確か昨年一度総会を開いただけで、そのまま
休眠状態でございます。私は、もっとこれを積極的に進めていくべきで
あらうと思っています。

補助金の見通し等について確固たる信念がございまして、お聞か
せをいたしたいと思っています。

それから、福生駅の周辺に駐車場の建設をする問題、確かにこれ

は公共団体が積極的に取り組んでいくことについては、市民全体のコミュニ
ケーションが必要にならうかと思っています。確かに議会内においていろいろ
議論はあらうかと思っています。ただ、私は、福生駅周辺は、福生市の核
となるべき商店街でございます。それで、現在福生の西口商店街が
だんだん疲弊をしていくという根本的な問題の一つに、駐車場問題があ
らうかと思っています。どうかこれは、たとえばここが適当な場所を見つけて
西口の広場の下とか、あるいは東口の広場の下に地下駐車場をつく
るとか、あるいは先ほどもちょっと触れましたが、第一小学校の移転
等を考えて、そこに駐車場をつくるとか、もっと進んだ考え方が持
てないものであらうか、いま一度お聞かせをいたしたいと思っています。
それから、幹線道路の整備について。

都市計画道路の指定を受けたもので、これはいろいろ財政上の問
題、東京都の問題等がありましてなかなか遅々として進まない
というのは、私もよくわかっておりますが、ただ指定して放しで調査
もしなければ計画もなされない、全く指定してそのままというよう

ようなところがあるわけです。エ・三・一などですね。こういうものは市民に対して非常な不便をかける。そこに住んでいる人は、いつ道路ができるんだろうという期待感を持ってゐるわけです。そして、その道路ができることを前提にして生活設計をしてゐるわけです。それがいつになってもできない。全く見通しがないというようなものについては、市民に対して非常に不親切だと思ひます。できないならできない、いつごろできるならできるといふような見通しを市民に対して出すべきだろうと思ひます。これについていさ少し進んだ考え方がないのかどうか。

それから、国央道については、何か関係市町の連絡協議会ができて、やられるということでございますが、もちろんそれも結構でございますが、御案内のようにこれは都道だろうと思ひます。東京都が積極的に乗り出さなければなかなかむずかしいわけでございますが、ひとつ東京都とも連絡を取りまして、これは先ほどの西口開港問題でも指摘いたしましたように、非常に重要な路線でございます。しかも多摩川に橋をかけていかなければならない問題がございます。

この橋のかかけえ、それから玉川上水の橋、いろいろなものを考えましても、もっと東京都に対して働きかけを行っていかないとなかなかできないのではないかというふうな感じを持っております。

それから、横田基地の下をトンネルで通す道路について、まことにこのりはな答弁でございまして、承っております。確かにむずかしい問題です。から一朝一夕にできるものではないことは私もよくわかっております。しかし、ただ承っただけでは何もならないので、ひとつ具体的に防衛施設庁の方にも話を持ち込んでもらいたいと思ひます。市長の胸三寸に納めてしまつてどこにも出さないのでは何にもなりませんから、ひとつ防衛の方へ、こういう計画がある、構想があるということぐらいは持ち込んでおいていただいたかどうかというふうに思ひます。

それから、緑地保全につきまして、さっき古谷部長からいろいろ細かい説明がなされました。

それで、私はこれで御提案申し上げますが、また残された樹林地、緑地というのはかなりあるはずですが、したかつて、これらを保全していくため

に、最もよい方法は、公用地として市が取得することです。しかも、この緑地の取得については、防衛施設庁からは二分の一の補助金が出るはずでございます。それで、現在原々谷戸については、確かに防衛施設庁に持ち込みまして、その後の経過は市長が御説明のとおりでございます。しかし、そのほかにもまだ市内には緑地がたくさんあるはずで、これを年度計画をもちまして防衛庁の補助金で買収をして、できるだけ多くの緑地を公用地として保存をしていくということとか最も適当だろうと思っておりますので、それらの年度計画というようなものをつくったかどうかということを御提案申し上げます。

それから、多摩川と河原の自然問題について。

都市下水路の分水路については、つくるようには一生懸命やりますという事なんですが、確かに羽村町としてみるとこれは重要な問題でございますので、一生懸命やられるんだろうと思っております。しかし、福生市にとりましては大変迷惑な話だということとをひとつ前提にして、都市下水路でやられるのか、羽村町が単独でやられるのかよくわかり

ませんが、その辺の財政負担の問題については、特に慎重に対処していただきたいと思います。

と同時に、ここから流れ出るものは雨水排水といながら、現状ではやはり生活排水が相当入って来る。都市下水路の排水の最大の原因は、生活排水にあるわけです。したがって、私はこの生活排水を流さないように、もちろん下水計画ができますと流しませんよということになります。が、なかなかそのそばんどおりにはいかないのが現状でございます。現在の都市下水路も、つくる前は、雨水排水ときれいになった工場排水だけで、多摩川には汚ない水は流しませんというのが都市下水路であったはずで、ところが、計画と現況とはまるっきり違うわけです。この分水路についても、説明だけをそのままうのみにすることのないよう御努力をいただきたいと思っております。

それから、秋川の漁業組合からの補償問題。

いまお話を承りますと、配達証明のはかきが来ているというようなお話がありました。こういう問題については、いきなり提訴というよう

なことはないのではないかと思います。その間に幾つかの経過があって、その経過を踏まえて、話し合いがつかないので提訴とこうなろうかと思いましたが、何かその話し合いの機会が持たれたのか、持たれなかったのか。こういう意見の相違があったのか。これは都市下水路の方ですから市長は直接かわっていないと思いますが、ただ、市長も副管理者ですからその辺の内容はおわかりになっていると思います。どうして提訴にまで行ってしまったのか。全く話し合いが持たれなかったのか。それらについて再度伺いをいたします。

○議長（田村市郎君） 三時十五分まで休憩いたします。

午後二時五十八分 休憩

○議長（田村市郎君） 午後三時十七分 開議
休憩前に引き続き会議を開きます。

○市長（田村匡雄君） 大変に申しわけないと思っています。二月の二十七日と申し上げるところを三月の二十七日と先ほど申し上げたんですけれども、お許しをいただかしましてこのように訂正をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（田村市郎君） お諮りいたします。
ただいま市長より訂正したい旨の発言がありました。訂正することに御異議ありませんか。

○議長（田村市郎君） （「異議なし」と呼ぶ者あり）
御異議なしと認めます。よって市長の発言の訂正を認めることにいたしました。

○議長（田村市郎君）

引き続き一般質問を行います。

○市長（田村匡雄君）

上野議員さんの御質問にお答えいたしますが、

いろいろと御質問をいただいたわけでございますけれども、私から幾つか御答弁を申し上げて、あとは部長からいたさせますのでよろしくお願いしたいと思っております。

最初に、橋上駅の件でございますけれども、福生の橋上駅は、前々から防衛から補助金をもらってという話を私も、基地対策ほか議員の皆さんにお話をしておいたわけでございますけれども、現在の防衛の關係、その他のいろいろ法令等を見ますと、なかなかむずかしい面もあるようでございまして、上野議員さんのおっしゃるように、できましたら単費でお願いし、この単費につきましてもいろいろな關係官庁等からできるだけ御支持をいただきながらやっていきたいというふうに考えておりますので、その節はよろしくお願いしたいと思うわけでございます。

それから、第一小学校の件でございますけれども、この件について、商

店街としてそこを利用したらどうかというような前からのお話が出ておるのではないかとというようなお話でございますけれども、そういうところをいろいろと利用して再開発したならばいいだろうというようなお話がございまして、この件につきましては、この西口の公共施設用地の審議会等でこの話が実は出たわけでございますけれども、その時点のときに昭和七十五年ぐらいにそういったことを計画したらどうかというような御提案をいただいたわけでございますけれども、その時点である程度の開発等が進む中でこの第一小学校の問題は考えさせていたかいたかというふうに私はその協議会の中では申し上げておるわけでございますので、よろしくお願いしたいと思っております。

それから、基地の中に地下道をとというような御提言をいただいたわけでございますけれども、この件につきましても大変に御提案をいただきまして、したので、防衛施設庁あるいは關係へいろいろとお話をいたしましたので、できることならそのようにというふうに考えておりますけれども、いずれにしても非常にむずかしい問題ではないかというふうに考えておりますが、一応防

衛施設庁の方へ話を持って行きまして、御協議をさせていただきたいというふうにご考えております。

以上でございまして、あとは部長の方から答弁をいただきますのでよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○建設部長（森田 進君）

市長の答弁の補足をさせていただきます。

まず、商圏人口三十万という数字が是か非かとそういうことでございませうけれども、これについてはあの基本計画書の中でも御指摘いただきましたとおり、西多摩全域、それから昭島、武蔵村山を含めまして六十年年度の全体人口を五十万、その中で吸引可能な商圏人口を三十万、そういうような形で受けとめております。これは当然、いろいろ道路網の整備あるいは交通網の整備、そういうものを図る中で吸収可能な商圏人口とそんなふうに一応受けとめております。

そういう考え方に立つならば、当然開発と同時に、平行してそういった整備も行わなければならない問題だろうとそんなふうにも考えますが、いずれにしても、かなりこの西口開発につきましまして相当の年限を

でに要しているわけですが、これから先もかなりの時間を要する問題であらうとそんなふうに一応受けとめますので、できるだけそういった周辺道路の整備、そういったものについても心がけていきたいとそういうふうに考えております。

それから、二点目といたしまして、核機能、いわゆる商業棟の中の核になるべき機能の問題でございしますが、御指摘のように、確かに二階以上で大規模店を設置すると、一応そういう構想になっておりますが、これについては、調査をする段階で関係する企業に当たりまして、一応の感觸を持ちましてこの報告書ができたわけですが、そのようにひとつお受けとめただきたいと思っております。

それからもう一つ、財政計画の中で、一般会計補助の関係でございしますが、これについては、一応再開発法に基づきまして国、都、市がそれぞれ負担をするとそういうふうな一つの基準が示されておりました。その基準に基づきまして市の負担というものを算出をしているわけですが、

それから、地主と借地人の関係でございしますが、確かに御指摘のよ